



報道関係者各位

2010年9月8日

「立山アルプス小水力発電事業」への市民出資募集開始 日本初の取り組みが始動

おひさまエネルギーファンド株式会社(共同代表取締役:飯田哲也/原亮弘。東京本社:東京都中野区/長野本社:長野県飯田市。通称「おひさまファンド」)は、2007年11月に長野県飯田市を本社として新生出発して以来、自然エネルギーをベースとする持続可能なエネルギー社会の構築を使命とし、地域の自立と一人ひとりが選択できる自然エネルギー市場の確立と拡大に市民出資の仕組みを用いて全力で取り組んで参りました。

このたび当社は、小水力発電への市民出資事業としては日本で初めてとなる、立山アルプス小水力発電事業への市民出資募集を平成22年9月8日より開始します。

富山県の立山連峰の名峰「剣岳」から流れ下る早月川水系の渓流を用いた小水力発電事業への市民出資を募集します。小水力発電とは、発電出力が一般に1万キロワット以下の、河川環境や周辺環境に影響の少ない水力発電を指します。もちろん、二酸化炭素を排出しないクリーンな純国産の自然エネルギーとなります。

■「立山アルプス小水力発電事業」について

1口50万円と300万円の2種類の契約で一般的な市民より出資を募り、富山県小早月川に、小水力発電設備導入を行います。事業主体は、地元企業である株式会社アルプス発電(<http://www.alps-power.com/>)で、地域の企業による地域の事業として実施されます。環境省のモデル事業に選定されており、最大募集額約7億8千万円、目標分配利回りは3%~7%を予定しています。2010年9月8日より募集を開始します。(ファンド詳細は別添の資料をご参照ください。)

■これまでの「おひさまファンド」の実績

2004年の設立以来、これまでに「南信州おひさまファンド」、「温暖化防止おひさまファンド」「おひさまファンド2009」を実施してきました。3つの事業を合わせて1,274名から合計約7億円の出資金を得て、約160施設に太陽光パネルを設置、約40施設に自然エネルギー/省エネルギー設備を導入しました。運用状況も順調で、2007年より毎年予定通り1.1%~3%前後の分配を実施しています。「おひさまファンド」の取り組みは2008年1月放送の「クローズアップ現代」で特集されています。また、出資対象事業は、環境省のモデル事業に採択されており、助成金を受けております。(「おひさまファンド」の実績詳細は、別添資料をご参照ください。)

「おひさまファンド」は環境エネルギー政策研究所、エナジーグリーン株式会社との密接な連携のもとで、今後も全国各地での地域エネルギー事業の推進、支援を継続して参ります。

以下、詳細情報を添付いたしますので、よろしくお願ひいたします。

添付資料 : 募集概要、対象事業概要、市民出資スキーム、代表取締役飯田哲也プロフィール、「おひさまファンド」これまでのあゆみ。

おひさまエネルギーファンド株式会社
<http://www.ohisama-fund.jp/>

東京本社(募集窓口): 東京都中野区中野4-7-3
広報担当: 永田 光美
電話: 03-5318-3338 e-mail: nagata@ohisama-fund.jp

「立山アルプス小水力発電事業」募集概要

市民出資名称	立山アルプス小水力発電事業	
事業名称	小早月川小水力発電	
営業者	株式会社アルプス発電	
募集区分	A号匿名組合契約	B号匿名組合契約
募集総額	最大5億8千万円	最大2億1百万円
申込単位(一口金額)	50万円	300万円
募集口数	最大1,160口	最大67口
目標年間分配利回り※1	3%	7%
分配金計算期間	7年(延長の場合有り)	1. 5年(延長の場合有り)
分配金支払日	決算日(毎年3月31日)から3ヶ月以内 (6月30日迄)	最終決算日(平成24年3月31日)から3ヶ月以内 (6月30日迄)に一括
募集期間※2	平成22年9月8日～ 平成23年3月31日	平成22年9月8日～ 平成22年10月26日
申込手数料	出資口数に関わらず、1契約につき5,250円(税込)	
中途解約	不可	

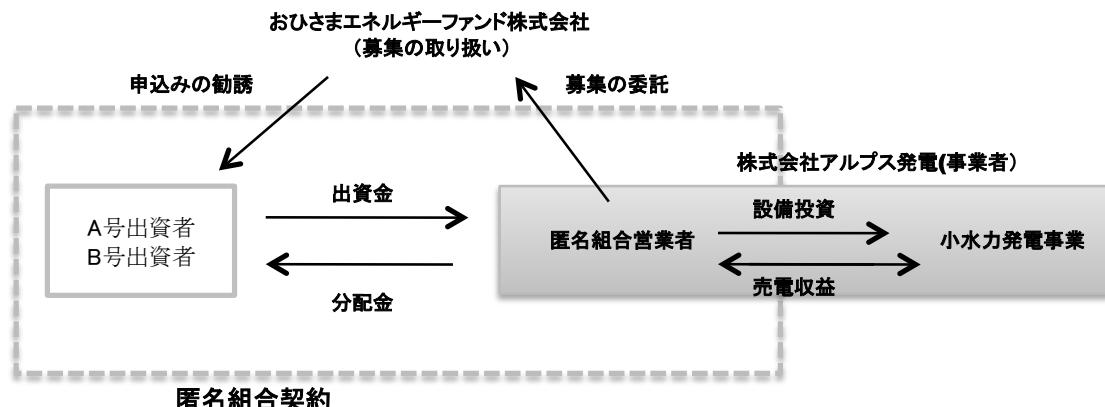
※1 目標年間利回りは、事業計画上の目標値であり、これを保証するものではありません。

※2 募集予定額に達し次第募集を終了する予定です。ただし、営業者の都合により、募集総額に達する前に終了することがあります。また、募集期間を延長したり、予告なく募集を終了することがあります。

対象事業概要

事業者	株式会社アルプス発電
代表取締役	古柄 均
事業目的	小水力発電による電力の供給
事業実施場所	小早月川発電所 魚津市鉢字鉢造5番220 (流量1.20m ³ /s 最大出力1,000KW 稼働率62.4%)
売電契約先	特定規模電気事業者もしくは北陸電力
発電電力量予想	5,464MWh/年(見込み)
発電収入	約6,500万円/年(見込み)
総事業費(税抜)	約10.5億円
営業運転開始予定	2012年4月

市民出資スキーム



■おひさまファンド これまでのあゆみ

2004年12月 おひさま進歩エネルギー有限会社として会社設立

環境省の温暖化防止モデル事業として選定された長野県飯田市の事業を担う公益的地域エネルギー会社として、市民・行政・事業者のパートナーシップを得て、NPO法人南信州おひさま進歩が母体となって設立

2005年2月 日本初の太陽光発電に投資する「南信州おひさまファンド」を募集

2005年5月に460名から満額の2億150万円の出資申込を得て、無事募集を終了。

出資金を元に、2005年から2007年にかけて、長野県飯田市内の幼稚園などの38の施設に太陽光パネルを発電容量合計208kW(累1000枚分)設置すると共に、12の施設に省エネルギー設備を導入し、無事に投資完了

2007年6月 「南信州おひさまファンド」第1回現金分配を計画どおり実施

2007年11月 社名を「おひさまエネルギーファンド株式会社」へと変更し、市民出資エネルギー事業を全国的に展開開始

2007年11月 対象地域と規模を拡大した「温暖化防止おひさまファンド」の募集開始

2008年6月 現金分配を計画どおり実施

2008年12月 「温暖化防止おひさまファンド」は653名から4億3430万円の出資申込みを受けて、目標額達成見通しとなり、募集を終了

2009年6月 現金分配を計画どおり実施

2009年6月 太陽光発電事業を中心とした「おひさまファンド2009」の募集開始。

2009年12月 「おひさまファンド2009」は145名から7520万円の出資を受けて、目標額達成となり、募集を終了

2010年6月 現金分配を計画どおり実施

2010年9月 「立山アルプス小水力発電事業」の募集開始

会社設立キックオフイベントの様子。飯田市・牧野市長からも応援メッセージをいただきました。
(2005年1月)



マスコットのさんばちゃんと共に、太陽光発電をテーマにした子供たちへの環境教育にも取り組んでいます。

■おひさまエネルギーファンド株式会社 会社概要

役員	共同代表取締役 飯田哲也／原亮弘 取締役 水上宗光 監査役 土屋巳喜雄
設立／資本金	2004年12月24日／1,000万円
東京本社	〒164-0001 東京都中野区中野4-7-3
飯田本社	〒395-0044 長野県飯田市本町2-15 いとうや3F

＜本件に関するお問い合わせ＞
おひさまエネルギーファンド株式会社 募集担当:永田 までお願いします。
電話: 03-5318-3338
FAX: 03-3319-0330、Email: info@ohisama-fund.jp

プロフィール

おひさまエネルギーファンド株式会社

代表取締役 飯田 哲也

1959年生、山口県生まれ。京都大学原子核工学専攻修了。

東京大学先端科学技術研究センター博士課程単位取得満期退学。レンド大学(スウェーデン)客員研究員。

大手鉄鋼メーカ、電力関連研究機関で原子力R&Dに従事した後に退職。

非営利の研究機関、NPO法人環境エネルギー政策研究所の代表として、環境審議会、総合資源エネルギー調査会、東京都審議会など歴任。

現在、グリーンエネルギー証書事業、地産地消のエネルギー支援事業を行うエナジーグリーン株式会社([URL:<http://www.energygreen.co.jp/>](http://www.energygreen.co.jp/))

代表取締役兼務。

自然エネルギー政策では日本の第一人者として、具体的な政策提言と積極的な活動や発言により、日本のエネルギー政策に影響力を持つ。

主著に『北欧のエネルギーデモクラシー』(00,新評社)、共著に『自然エネルギー市場-新しいエネルギー社会の姿-』(07,築地書館)など多数。

